

化石体験

## ミニ発掘に新メニュー

化石のレプリカづくりとミニ発掘，二本立ての化石体験はいまや足寄動物化石博物館の看板メニューとなっています。

レプリカづくりは，開館当時の2種類から，現在の17種類まで，年々種類を増やしてきました。今年の4月からはついに恐竜の歯が加わりました。毎年，2500～3000個のレプリカがつくられています。

ミニ発掘は，2007年から始めました。提供できる化石が安定して確保できるようになりましたので，これも定番とできそうです。この夏休みからはさらに新メニューを加えようと計画しています。それは，  
「ミニ発掘 クリスタル」

クリスタルは結晶のこと。鉱物の分子が規則正しく並びそれぞれ特徴のある形をつくります。石こうも結晶の集まりだし，ヒトや動物の骨や貝殻も結晶でできています。化石を調べるには鉱物や結晶の知識も必要です。それなら，ミニ発掘で結晶も！というわけで，試験的に実施します。

方解石（シオワッカでできている鉱物）やいろいろな水晶，さらに宝石の原石（装飾品にできるかは“？”）を掘り出せます。

実施する日など詳しいことは次号でお知らせします。



方解石



水晶（両端がとがっている）

# シャチの組立・展示を紹介

## 北海道博物館大会で

平成21年度北海道博物館大会が6月4・5日、富良野市で開催されました。大会会場にポスターを掲示して、活動を紹介するコーナーがあります。足寄動物化石博物館からは、安藤達郎研究員が参加し、「シャチ骨格標本の作製・展示について」というタイトルで、羅臼海岸のシャチの骨格作製過程、化石教室の行事として小学生など大勢で掘り出したこと、町内の大工さん（マルショウ技研）の協力を得て組み立てたこと、などを説明しました。展示物の作製に小学生や住民が参加したこと、費用を掛けないでできあがったことなどに注目が集まりました。



展示風景



### 『骨格水族館』に待望のシャチが登場

展示されたシャチの全身骨格。ティラノサウルスにもひけを取らない恐ろしい容姿は来館者にも大人気となっている。

ポスターの一部

### 自然 足寄はクマゼミの北限か？

6月21日の朝日新聞教育面「セミの鳴き声 報告を北限の変化など調査」で、北海道足寄町でクマゼミが見つかった、と紹介されました。従来は、関東北部か東北南部が北限とされていました。調査を進めている「NPOむしむし探し隊」は再調査をするとのことで、今年も声を聞こうと呼びかけています。

クマゼミは「シワシワシワシワ」や「シャツシャツ」と、同じような声で続けて鳴きます。

町内に住むみなさんもクマゼミ探しをしてみませんか。声を聞いたら博物館へお知らせください。

### 日食を観察しよう

7月22日、皆既日食が見られます。足寄では部分食しか見えませんが、それでも太陽の中心付近まで月の陰がかかりそうです。博物館では望遠鏡を設置し投影像が見えるようにします。

午前10時から12時まで観測できます。博物館の玄関からお入りください。

### 休館日 || 7月 7日 14日 21日の火曜日 【28日は夏期開館】

博物館の動き 7月 (館の行事や職員の動き, 来館団体, など)

1日	川西中学校	12日	足寄町体験観光ツアーでガイド
2日	虹別小学校, 高島中学校, 厚内小学校	14日	付属釧路小学校, 釧路桜ヶ丘中学校
4日	冒険王(化石採集) あけぼの保育園, 幕別ユニースクール	16日	北見緑小学校
5日	帯広市児童会館	22日	豊頃中学校
7日	信州大学地質学科, 芽室西小学校	24日	名古屋瑞穂子ども家
8日	中標津小学校	26日	あしよろ化石教室第3回(土幌町)
10日	中標津丸山小学校		

7月22日～8月31日 全日開館